



岐阜県政記者クラブ加盟社各位

令和7年7月3日(木)		岐阜県発表資料	
担当課	担当係	担当者	電話番号
感染症対策推進課	感染症対策係	酢谷	内線 3352 直通 058-272-8453 FAX 058-278-3550

本日の取材は18時までをお願いします。

## 伝染性紅斑の流行が拡大しています ～手洗いなど基本的な感染予防対策の徹底を～

県内の伝染性紅斑（リンゴ病）の患者報告数が増加し、国立感染症研究所が定める警報レベルを超過しました。

今後、県内において感染がさらに拡大する可能性がありますので、手洗いや咳エチケットなど基本的な感染予防対策のより一層の徹底をお願いします。

なお、県内の伝染性紅斑患者報告数が警報レベルを超えたのは、感染症発生動向調査事業が始まった平成11年以来、初めてです。

### 1 概要

県では、県内の27か所の小児科定点医療機関から伝染性紅斑の患者情報を収集し、流行状況を調査しています。この調査における令和7年第26週（6月23日（月）から6月29日（日）まで）の伝染性紅斑患者報告数が、定点医療機関当たり2を超え、国立感染症研究所が定める警報レベルを超えました。

### 2 伝染性紅斑患者の定点医療機関当たり報告数の推移

	第24週 (6/9～6/15)	第25週 (6/16～6/22)	第26週 (6/23～6/29)
岐阜市保健所管内	0.80	2.00	1.60
岐阜保健所管内	0.80	2.00	2.80
西濃保健所管内	1.00	1.60	2.00
関保健所管内	—	0.50	6.00
可茂保健所管内	—	4.33	2.67
東濃保健所管内	—	—	0.33
恵那保健所管内	—	3.50	1.00
飛騨保健所管内	1.00	1.00	1.50
岐阜県	0.56	1.89	<b>2.15</b>
全国	2.03	2.53*	—

※全国第25週の定点医療機関当たり報告数は速報値

### 3 伝染性紅斑について

伝染性紅斑は、頬が赤くなることからリンゴ病とも呼ばれ、お子さんに多い感染症です。ヒトパルボウイルスB19が原因であり、咳やくしゃみのしぶきによる飛沫感染や、ウイルスのついた手で鼻や口に触れることによる接触感染でうつります。感染すると10～20日後に、両頬に赤い発疹や手足にレース状の発疹が現れます。

お子さんがかかることが多く、ほとんどは軽い症状で自然に治りますが、妊婦さんが感染すると胎児の異常（胎児水腫）や流産を起こすことがあります。

多くの場合、頬に発疹が現れる7～10日くらい前に、微熱やかぜのような症状がみられ、この時期に周りへの感染力を持ちますが、発疹が現れたころには感染力はなく、周りの人にうつすことはほとんどありません。そのため、気づかないうちに感染してしまうことがあり、ワクチンもないため、手洗いや咳エチケットなど、日ごろの基本的な感染予防対策が大切になります。妊婦さんや、その周囲の方は特に予防に心がけましょう。

#### 4 「岐阜県リアルタイム感染症サーベイランスシステム」による情報提供

県医師会、県教育委員会、県が協力し、県内の医療機関を受診した伝染性紅斑等の患者の情報をオンラインで収集し情報公開しています。

URL：<http://infect.gifu.med.or.jp/influ/infectioncondition/patients/>

#### 5 「岐阜県感染症情報センター」による情報提供

感染症発生動向調査システムにより、医療機関から保健所に集められた情報を確認・集計し、感染症の流行状況や予防に役立つ情報等を公開しています。

岐阜県HP：<https://www.pref.gifu.lg.jp/page/9550.html>